

技術力の高さ実感

創学館高 東根の企業が出前授業

天童

天童市の創学館高（高橋健二校長）で13日、ハードディスク（HDD）の開発や製造を手がけるレゾナックHD山形（東根市、真壁保志社長）による出前授業が行われ、情報メディアコースの2年生38人がHDDへの理解を深めた。

同社は、パソコンや監視カメラなどに搭載されているハードディスクドライブ

（HDD）のうち、円盤状の記憶媒体であるHDDを生産している。この日は、同社開発部の大場崇裕さんが講師を務め、HDDの製造過程やHDDの仕事組みなどを説明した。生徒たちはHDDの分解にも挑戦し、部品を一つ一つ取り外しながら構造を確かめた。

新田文司さん（16）は「製

磁気ディスク記憶装置（株式会社レゾナックHD 開発部 開発4クル）



造技術の高さに驚いた。HDDの中を見ることは普段していないので面白かった」と話していた。（落合慶）

ハードディスクドライブを分解する生徒ら

〓天童市・創学館高